



赤

や黄の落ち葉が積もる秋の公園。ぱあっと落ち葉を両手いっぱい空高くまいて：みんなで落ち葉をかき集め、プールに見立てて泳いだり、落ち葉の紙吹雪を散らしたりして、誰もが無邪気に、笑顔で自然と触れ合っています。

遊具が雪に埋もれ、辺り一面真っ白になる冬の公園でも、いろいろな遊びができます。陣地を作って雪合戦をしたり、スノーキャンドルを作ったり、遊び方は無限大。公園で初めて会う人たちともすぐに仲良くなり、大人も子どもも一緒に楽しく遊んでいます。これは、今年度行われている「公園まなびのヒント講座」の様子です。

公

園をもっと楽しく使える、友達ができる、そして自然や環境について学べることを知ってもらいたいと考え、南区土木センターが主催。これまで「公園まなびのヒント講座」を三回、「冬あそびの達人シリーズ」を二回、「落ち葉のクルクルリサイクル」を一回実施しました。

札幌の自然を考える「フォレストスターズ・クラブ」や公園を中心に行ういろいろな遊びをしている「札幌プレーパークの会あそぶべえ」、藻岩下公園で楽しく遊ぶ活動をしている「藻岩下公園を考える会（パンダフル）」、難聴児と健全児と一緒に自然に親しむサポートをするNPO「デフ・ネイチャー」など、公園や自然を愛する多くの「遊び」の名人が参加。それぞれの団体が交流し、